

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	総合英語 I
科目基礎情報						
科目番号	90011		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子機械工学専攻M		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	必要に応じてプリント配布					
担当教員	市川 裕理					
到達目標						
(ア)様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。 (イ)様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。 (ウ)英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。		様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を教員の助言を参考にしながら理解し、使用することができる。		様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができない。	
評価項目(イ)	様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。		様々な話題について、教員の助言を参考にしながら英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。		様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができない。	
評価項目(ウ)	英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。		英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を教員の助言を参考にしながら習得する。		英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 D1 適切な日本語を会話や文章で駆使できるとともに、英語による基礎的コミュニケーションができる。 JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力						
教育方法等						
概要	様々な話題について、学んだことや経験したことに基づき、自分の意見や感想を英語を用いて表現し、意見交換できるようにすることを目標とする。さらに、英語を学ぶことを通じて、多様なものの見方や考え方を理解することで、思考力を養う。					
授業の進め方・方法	教科書の内容理解を行った上(introduction)で、英語によるやりとり(interaction)と発表(presentation)を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。授業は基本的に、調べ学習・意見交換・発表(個人またはグループ)の流れで行う。					
注意点	英和辞典(紙または電子辞書)を持参すること。授業内容について、各ユニットの課題に取り組み、発表にあたっては、各自練習をした上で臨むこと。また、質疑応答、意見交換を行う際には、積極的に自分の考えを述べること。テーマについてはSDGsに関連するものを中心に扱う。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	授業目標を理解する。自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		2週	テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		3週	テーマ①に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		4週	テーマ②に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		5週	テーマ②に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		6週	テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		7週	テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)		
		8週	テーマ③に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
	2ndQ	9週	テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion)		
		10週	テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion)		
		11週	テーマ④に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		12週	テーマ⑤に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	様々な立場からディスカッションを行うことができる。(Debate)		
		13週	テーマ⑤に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。	様々な立場からディスカッションを行うことができる。(Debate)		

		14週	テーマ⑤に関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。		評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。		
		15週	総合英語Ⅰのまとめ		これまでの内容を踏まえて、ディスカッションを行うことができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
		定期試験		課題		合計	
総合評価割合		50		50		100	
分野横断的能力		50		50		100	